

学校選択制に関するアンケート調査の集計結果

富山市教育委員会
学校教育課

1 調査日 平成20年5月7日(水)～5月23日(金)

2 調査の対象 中学校1年の生徒並びに保護者(各3,220名:回収率90.3%)

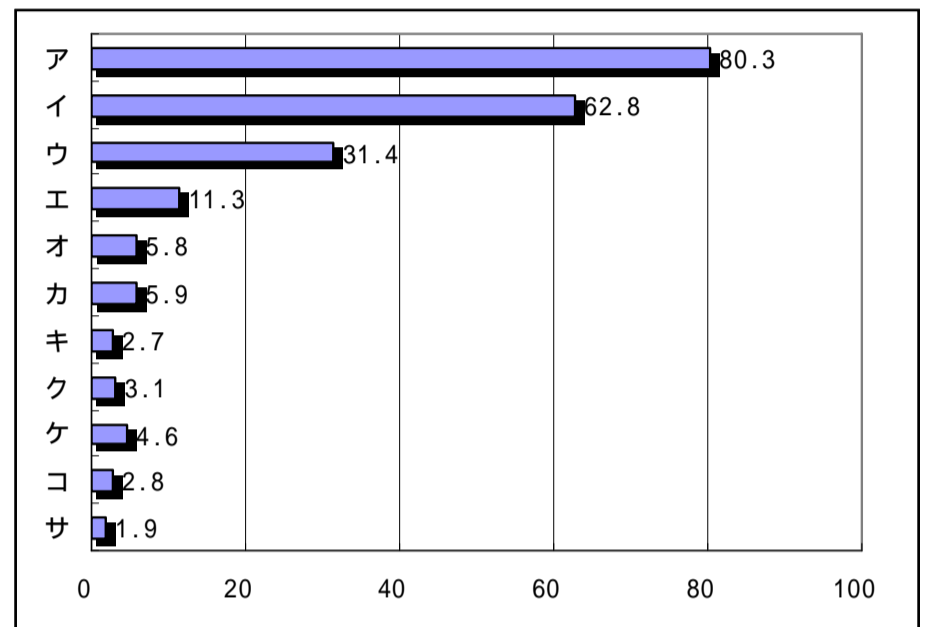
3 調査の結果

(1) 生徒へのアンケート(数字は%)

問1 どのような基準で中学校を選びましたか
(複数回答可)

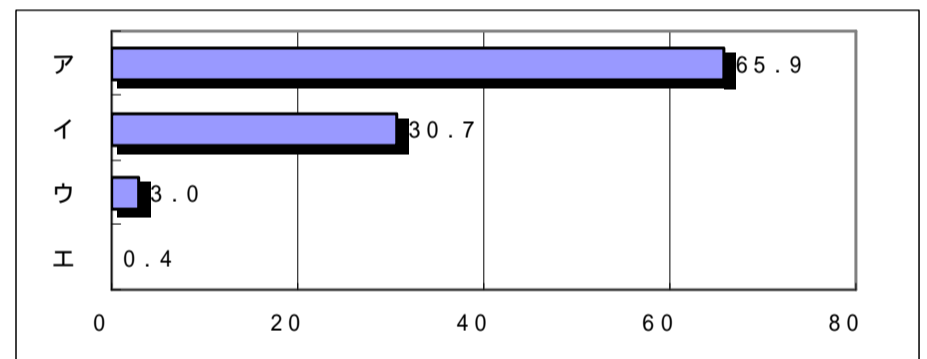
	(%)
ア.その学校が一番近い、あるいは通学しやすいから	80.3
イ.まわりの子どもたちや友人がその中学校に通うだろうから	62.8
ウ.兄弟や親が通っていたから	31.4
エ.希望する部活動があるから	11.3
オ.いじめや荒れが少ないから	5.8
カ.中学校と地域とのつながりを大切に思うから	5.9
キ.学校行事や授業などに特色のある学校だから	2.7
ク.教育活動や進路指導がしっかりしているから	3.1
ケ.学校施設、設備が充実しているから	4.6
コ.生徒数の規模が適正と思えるから	2.8
サ.その他	1.9

希望した学校に入学できなかったから。
親が決めたから



問2 入学して約1か月あまりがたちました。今の中学校に入学してよかったと思いますか。

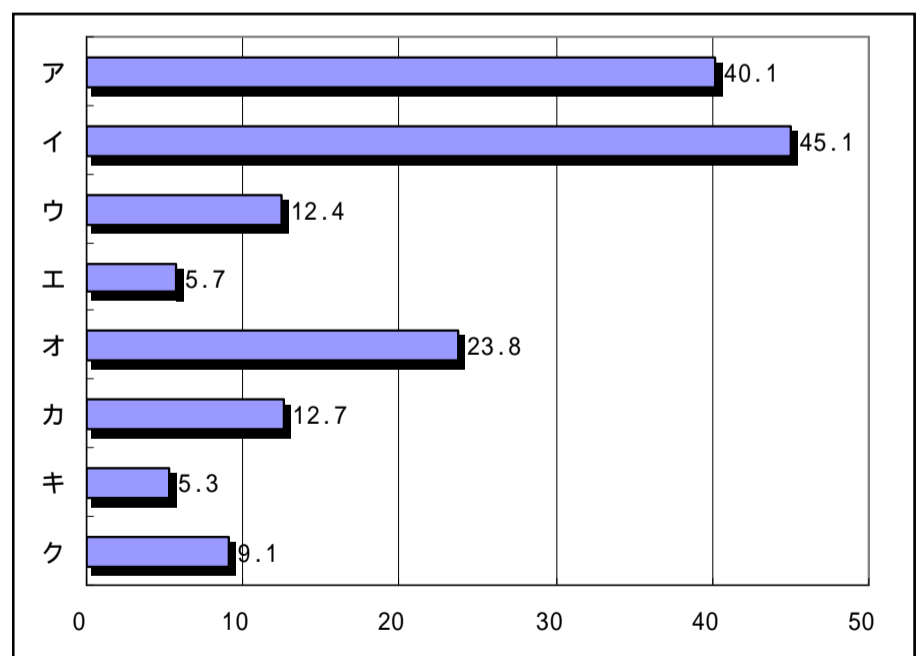
	(%)
ア.よかったと思う。	65.9
イ.だいたいよかったと思う。	30.7
ウ.あまりよかったとは思わない。	3.0
エ.よかったとは思わない。	0.4



問3 中学校に関する情報をどのようにして得ましたか
(複数回答可)

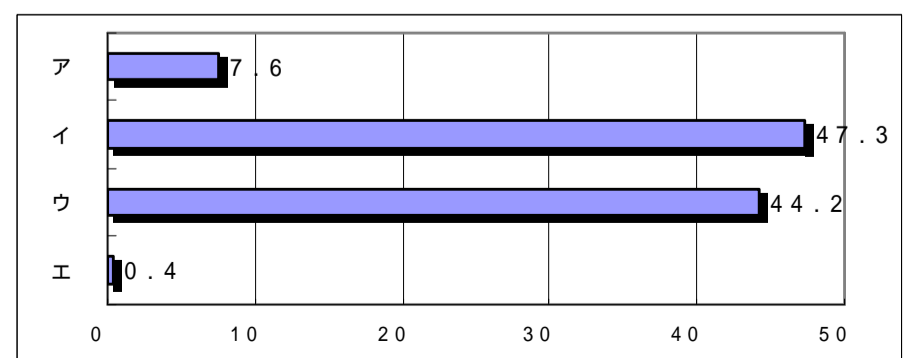
	(%)
ア.学校公開	40.1
イ.知人や友人からの情報	45.1
ウ.地域からの情報	12.4
エ.文化祭・体育大会など学校行事	5.7
オ.富山市立中学校紹介冊子	23.8
カ.学校だより	12.7
キ.ホームページ	5.3
ク.その他	9.1

(親、兄、姉)



問4 学校公開に行きましたか(1つ選択)

	(%)
ア.複数の中学校に行った	7.6
イ.1校のみに行った	47.3
ウ.行かなかった	44.2
エ.その他	0.9



(2) 保護者へのアンケート(数字は%)

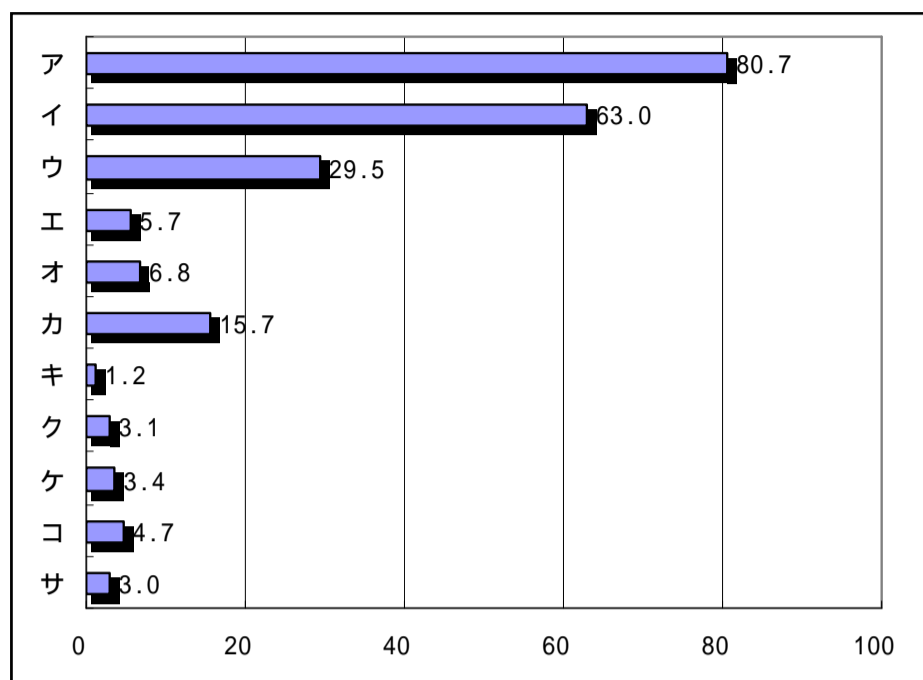
問5 どのような基準で中学校を選びましたか

(複数回答可)

(%)

ア. その学校が一番近い、あるいは通学しやすいから	80.7
イ. まわりの子どもたちや友人がその中学校に通うだろうから	63.0
ウ. 兄弟や親が通っていたから	29.5
エ. 希望する部活動があるから	5.7
オ. いじめや荒れが少ないから	6.8
カ. 中学校と地域とのつながりを大切に思うから	15.7
キ. 学校行事や授業などに特色のある学校だから	1.2
ク. 教育活動や進路指導がしっかりしているから	3.1
ケ. 学校施設、設備が充実しているから	3.4
コ. 生徒数の規模が適正と思えるから	4.7
サ. その他	3.0

希望した学校に入学できなかったから。
本人が希望したから

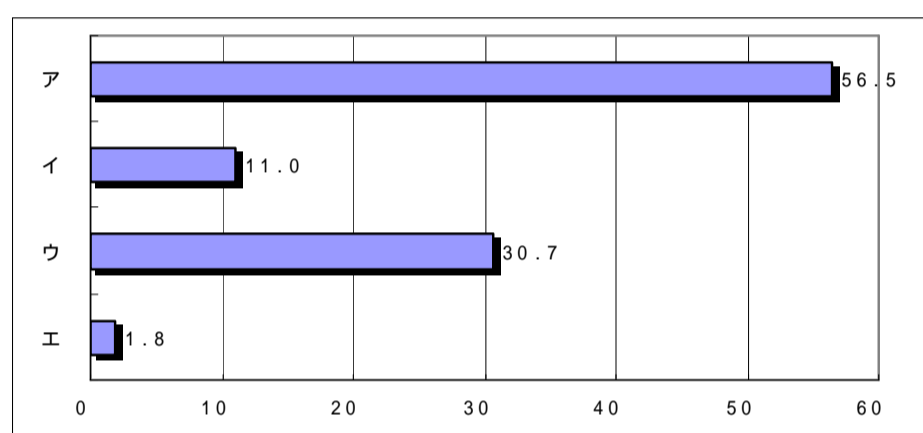


問6 主にだれの意見で中学校を選びましたか

(1つ選択)

(%)

ア. 生徒本人	56.5
イ. 保護者	11.0
ウ. 親子で相談して	30.7
エ. その他	1.8



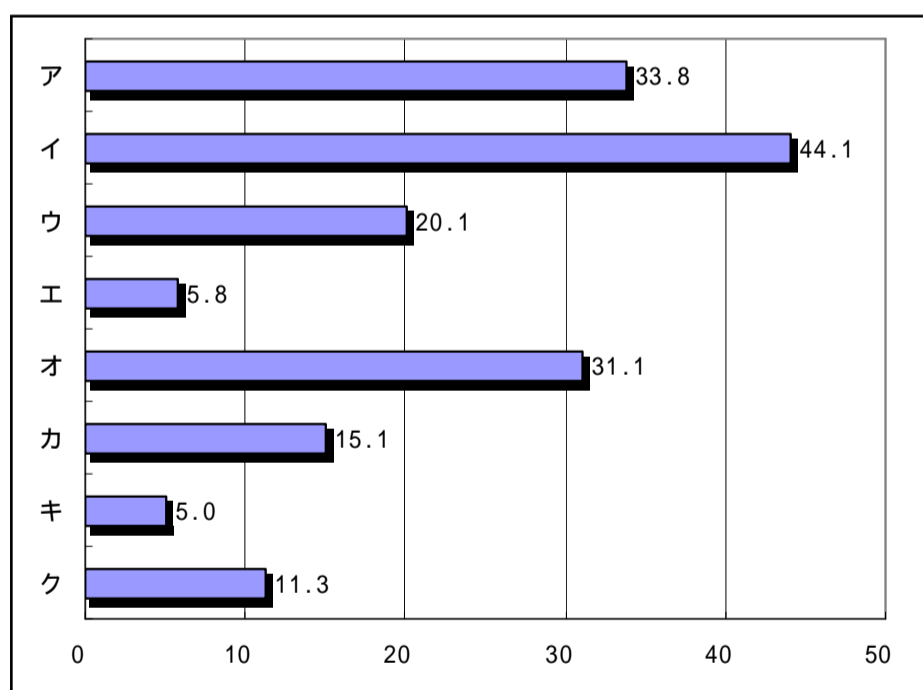
問7 中学校に関する情報をどのようにして得ましたか

(複数回答可)

(%)

ア. 学校公開	33.8
イ. 知人や友人からの情報	44.1
ウ. 地域からの情報	20.1
エ. 文化祭・体育大会など学校行事	5.8
オ. 富山市立中学校紹介冊子	31.1
カ. 学校だより	15.1
キ. ホームページ	5.0
ク. その他	11.3

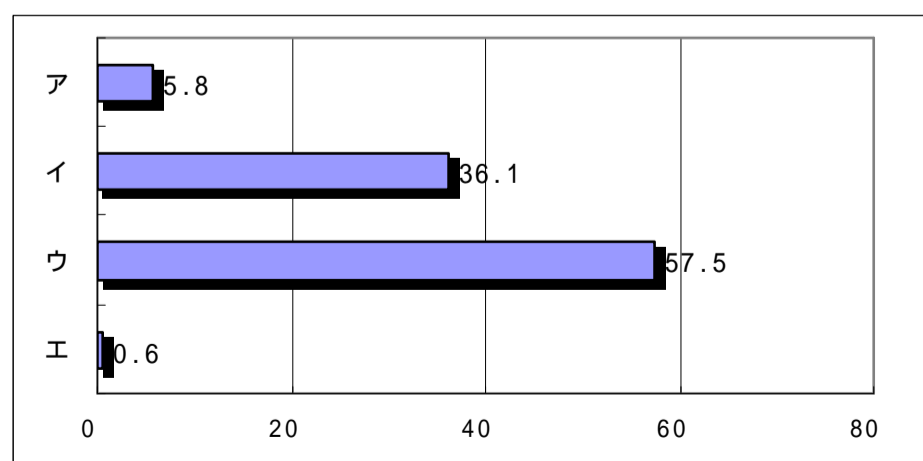
(兄、姉が通っていて、様子がわかっているから)



問8 学校公開に行きましたか (1つ選択)

(%)

ア. 複数の中学校に行った	5.8
イ. 1校のみに行った	36.1
ウ. 行かなかった	57.5
エ. その他	0.6



4 保護者による自由記述（主な意見）

（１）制度

子供が自らの意思で選ぶことが自立の一步であり、地元の中学校以外も選べることに意義やよさを感じた。学校選択制を契機として、子供と親が共に様々な観点から中学校について考え、興味をもつことができた。単なる抽選ではなく、居住地域の就学指定校以外を希望する理由をしっかりと聞いて、就学を指定すべきである。公立校では、子供の生まれ育った地域を大切に、親や子に負担をかけない安全な通学や生活が大事である。

（２）要望等

自転車通学

- ・自転車通学を許可される距離が各学校でばらつきがあることを改善してほしい。

受け入れ枠

- ・各校の受け入れ生徒数の枠を増やしてほしい。
- ・各学校の希望者数を見てから、受け入れ生徒数の枠を決めたらどうか。

中学校紹介冊子

- ・『中学校紹介冊子』では、学校の特色をもっと明確に、くわしく説明してほしい。

学校説明会

- ・学校がよいところだけ話すのではなく、「いじめ」に関する事なども話してもらいたい。

学校見学会

- ・学校見学会を土日にするのをやめ、平日にしてほしい。
- ・学校公開日が市内ほぼ同日だったので、充実した見学ができなかった。

その他

- ・学校間の格差や競争が歪んだ形で表れないよう配慮が必要である。

5 まとめ

（１）結果の考察

中学校を選んだ基準

「どのような基準で中学校を選びましたか」という問いに対して、約80%の生徒・保護者が「その学校が一番近い、あるいは通学しやすいから」と答えている。また、約60%の生徒・保護者が「まわりの子供たちや友人がその中学校に通うだろうから」と答えている。この結果から、ほとんどの生徒・保護者が、通学区域にある学校を選択していることがうかがえる。

主に中学校を選んだ人

「主にだれの意見で中学校を選びましたか」という問いに対して、「生徒本人」が約57%と一番多く、続いて、「親子で相談」が30%となっていることから、生徒の主体性が尊重されるとともに、親子での相談が大切にされていることがうかがえる。

中学校に入学しての感想

「今の中学校に入学してよかったと思いますか」という問いに対して、約96%の生徒が「よかったと思う」あるいは「だいたいよかったと思う」と回答していることから、多くの子供が自分自身や親子で相談して今の中学校を選び、入学後、今の中学校に満足していることがうかがえる。

（２）保護者による自由記述について

4（１）制度の に、希望する理由をしっかりと聞いて就学を指定してほしいという意見がある。このことについては、これまでも、特別な事情がある場合、在学の途中であっても指定校を変更することがあるため、基本的に学校選択制の活用と切り離して考えてもらうよう理解に努める。ただし、特別支援学級への入級の希望があった場合は、個別に意見を聞くなどして対応している。

4（２）要望等の に、自転車通学の許可される距離のばらつきを改善してほしいという意見がある。このことについては、地域の交通事情が異なるため、安全性に配慮する必要があり、一律に決めることは難しいと考えている。

4（２）要望等の に、受け入れ生徒数を増やしてほしいという意見がある。このことについては、学校施設の実情等を考慮し、受け入れ生徒数を決めていることの周知に努める。

4（２）要望等の 中学校紹介冊子・ 学校説明会・ 学校見学会については、小学校及び中学校の意見も聴取した上で、内容や方法等の工夫に努める。

（３）今後に向けて

今年度入学した生徒・保護者による本調査からは、全体として、一定の評価を得たものと受け止めている。

本市の学校選択制では、生徒の中学校生活への自主的な心構えが育つことを願い、通学区域外の中学校を希望した場合、受け入れ可能な人数の範囲内で入学することができる制度である。本市の学校選択制の趣旨については、今後も関係者への説明と理解に努めたい。

今後、学校の地域性や施設の実状、関係者の意見等を踏まえて、学校選択制のよりよい実施に努めたい。